



撓ま ず 屈 せ ず が ん ば ろ う 釜 石 ！

箱 崎 地 区

発行日：平成 25 年 8 月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

箱崎地区では、地域のみなさまと共に検討を重ねてきたワークショップの結果報告、最新の土地利用計画の説明、復興事業計画についての意見交換を行いました。

箱崎地区のみなさまに、再びこの地で安全に暮らして頂ける様、お示した土地利用計画をベースに、排水処理等のより具体的な宅地造成事業の課題検討を進めてまいります。



開催概要	開催日：平成 25 年 7 月 20 日（土）	時 間：14:00～16:00
	場 所：箱崎庵寺	参加人数：96 人

「浜のすまいを考える会」「意見交換会」のふりかえりと最新の土地利用計画

2 月 9 日に行われた「浜のすまいを考える会」や、5 月 12 日の集会において、地区毎にいただいた意見をもとに土地利用計画を修正しました。

集会所、消防屯所については森長根に建設し、西の沢、東の沢の両方面からアクセスの良い道路を建設予定です。

平成 25 年の 7 月から埋蔵文化財調査、詳細設計、土地価格の算定、用地買収と進めてまいります。造成工事は 26 年 4 月から 27 年度末までを予定しています。復興公営住宅については、平成 25 年 7 月から工事を始め、平成 28 年 9 月完成を目指しています。

土地利用計画（案）は、地域のみなさまの意見を踏まえた 1 つの整備イメージを示したものです。今後、全市で実施する最後の住宅再建意向調査をもとに、宅地数や坪数等を反映した計画を作成し、地権者のみなさまとの調整やご協力をお願いしていきたいと考えています。



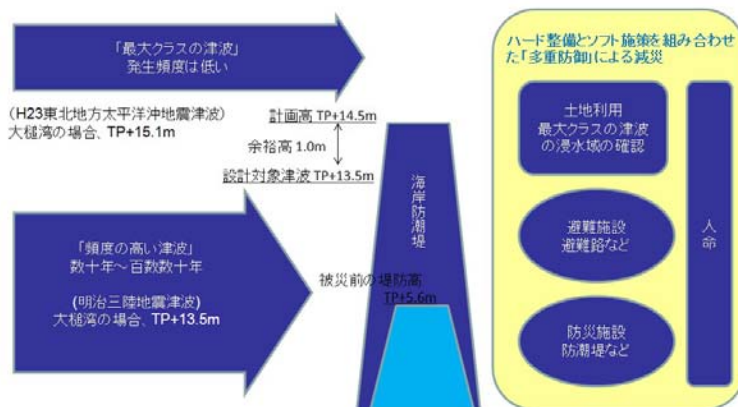
箱崎 浜の将来図 46
【別添資料 46 ページ】

	意見（再建箇所・造成・道路について）	意見を踏まえ提示した土地利用計画（案）
馬場前地区	<ul style="list-style-type: none"> 馬場前地区の高台へ 野川前のりんご畑付近（2 箇所に分かれてもいいが、1 箇所にまとまりたい。） できるだけ高いところへ 造成高さが同じでも山側へ 道路の高さを明示してほしい 道路を海側へ寄せて自力と公営を一緒にしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 自力再建住宅は、馬場前地区の高台と、安全性が確保された以前あった緩い沢付近に配置予定 公営住宅は、野川前のりんご畑付近に配置予定
野川前地区	<ul style="list-style-type: none"> 野川前のりんご畑へ 公営住宅は高いところへ 高台は不便なので学校跡地でもいい 桑ノ浜へ抜ける道路 	<ul style="list-style-type: none"> 学校脇の道路のクランク部分に住宅を配置予定 復興交付金のできる範囲は造成に関係する部分のみになるので、通常事業で優先度を考慮して実施を検討する
前田地区	<ul style="list-style-type: none"> 旧小学校南側（浸水箇所、グラウンドからの飛砂が心配） 市の計画付近（日照性、湿気が心配） 道路を海側へ 	<ul style="list-style-type: none"> 学校跡地の南側付近に配置予定 道路を海側へ移設すると、移転促進区域として住宅地を買い取る箇所が少なくなり、高台移転事業が成り立たなくなる
上前地区	<ul style="list-style-type: none"> 旧小学校南側（浸水箇所、グラウンドからの飛砂が心配） 市の計画付近（日照性、湿気が心配） 道路を海側へ 	<ul style="list-style-type: none"> メイン道路側に配置予定
横瀬地区	<ul style="list-style-type: none"> 市の計画付近（日当たりが良いところへ） 回遊道路ができた場合はめ込み型で高台に移れるか 盛土高さを明示してほしい 回遊道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 新設の回遊道路付近に配置予定 はめ込み型で高台移転も可能

箱崎漁港海岸防潮堤について

岩手県内での防潮堤は、L1 津波（概ね数十年から数百年程度で起こりうる頻度の高い津波。釜石では、昭和三陸津波や明治三陸津波クラスを指します）対応の高さに整備を進めています。

箱崎地区では、現在の防潮堤（TP=5.6m）の背後にTP=14.5mの直立堤を建設します。景観に配慮し、直立堤の後ろを盛土で傾斜にします。また、陸閘は設置せず、乗越道路を設けるかたちとなります。今年度末の工事着工を目標にしています。



【別添資料 8 ページ】

箱崎～箱崎白浜間道路について

箱崎～箱崎白浜間道路は、津波がきても地域として孤立しないように箱崎神社の裏側を通る幅員 7mの道路として計画中です。

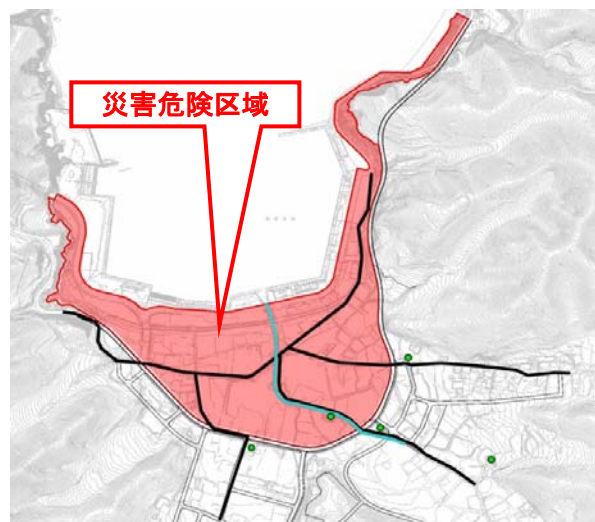
現在、測量・設計を進めており、平成 26 年度から工事着工し、27 年度中の完成を目指しています。

箱崎半島線について

箱崎半島線（延長 2,080m、幅員 9.5m）は、根浜部分で工事着工しており、平成 29 年度中の完成を目指しています。

災害危険区域の設定について

箱崎地区では左図の赤い部分が、浸水が想定される範囲（第一種区域に指定）のため、新しく住宅を建てる事が出来ません。建てる事ができるのは、倉庫、事務所など居住しない建物のみとなります。



【別添資料 61 ページ】

住宅再建支援制度について

現在の自力再建支援制度以外に、国から追加で分配された基金を活用して、新たな支援制度（釜石市単独被災者住宅再建支援事業補助金、釜石産木材活用住宅推進事業）が拡充されました。全て、被災時に遡って適用されます。

このような意見をいただきました

- いつ個別に土地の買い取りなどの話ができるのか？早く手元にお金が入れば、自力再建しやすくなる。



土地利用計画の基本的な方向性を承認して頂けるのであれば、早速、用地等の交渉に入れます。時期としては、先行できるところは7月末くらいからの個別交渉を開始できると考えています。

- 防潮堤が絶対にかかると明確な土地については、先行して用地交渉に入れないのか？



防潮堤については、年度内着工を目指しています。今後、11月位までに用地測量に入り用地が確定した後、12～1月に用地買収交渉に入りたいと考えています。
用地境界の問題のない土地については、先行して個別に測量に入り、用地買収を早めることは可能です。該当する方は、県の振興局に連絡をお願いしたいと思います。

- 避難場所が地域にいくつか計画されているが、集会場などの箱ものも欲しい。集会場には避難場所には寝具等の防災備品も備えて欲しい。



避難場所は、1次避難、2次避難や備蓄倉庫などについては、宅地の配置計画が定まった後に具体的な検討に入って行くこととなります。



土地利用のあり方については、できる限りみなさまの期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。
1日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。
あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部
TEL : 0193-22-2111(内線 192)
FAX : 0193-22-9505